

桜実神社の八ツ房杉

(奈良県宇陀市)

●更新: 2006年2月(1)

(さくらみじんじあのやつふさすぎ)

●[巨樹と花のページ・トップ](#)

●[都道府県別リスト](#)

●[樹種別リスト](#)



●8本の幹に分かれている「八ツ房杉」。幹周/9m、樹高/14m。



●「天然記念物 ハツ房杉」の石碑と石垣の上のハツ房杉。



● 八ツ房杉の全景。



●近くで見ると杉は赤い樹肌をしている。



●杉を背後から見るとワイヤーで保護をしていた。



●桜実神社の境内



●八ツ房杉の説明板

- 名称 : 桜実神社の八ツ房杉
- 所在地 : [奈良県宇陀市菟田野佐倉764](#)
- 撮影日 : 2005/5/21
- 指定 : 国指定天然記念物 (S7年4月25日指定)
- アクセス : 近鉄大阪線・榛原駅から奈良交通バスで「桜実神社前」下車、西へ徒歩10分。
- 古い地名や史跡が残る旧菟田野(うたの)町は、わが国の始まりの地とも言われています。桜実神社の祭神は木花咲耶姫(このはなさくやひめ)で、神武東征の際「菟田の高城(うたのたかき)」に神武天皇が陣を張られたときに植えられたと伝えられます。
一つの株から八つの幹が伸び、絡まっています。また樹皮は美しい紅色をしています。ただかなりの古木のため弱ってきているのか、背後を見ると針金で支えられているのが分かります。

○地図リンク提供: マピオン



バス停から神社への道の途中に「菟田の高城」に上る細い道があります。ここが古事記・日本書紀にある日本最初の城であったといわれています。八咫烏(やたがらす)に導かれて熊野から大和国へ進軍して来た神武軍が休息したとされており、古代史ロマンが溢れる地域です。

桜実神社周辺には桜の名所や巨樹が多くあります。[又兵衛桜](#)、[仏隆寺の千年桜](#)、[高井の千本杉](#)、[宇太水分神社の夫婦杉](#)はおすすめ。

(HP管理者)



(八王子神社御旅所の楠)



(難宗寺のイチヨウ)

■ [奈良県](#)

■ [スギ](#)

■ [新日本名木100選](#)

No.29

 [このページのトップに戻る](#)